

## ◆PhotoManager リコー社製カメラ連携内容について◆

### 1. 連携可能なカメラについて

PhotoManagerで作成した電子小黒板が連携できるリコーカメラは、以下の機種です。

- ・ RICOH G900 対応ファームウェア：バージョン 1.01 (2019/10/31)
- ・ RICOH G900SE 対応ファームウェア：バージョン 1.01 (2019/11/27)

縦黒板をご利用になる場合は、以下のファームウェアをご利用ください。

- ・ RICOH G900 対応ファームウェア：バージョン 1.03 (2021/5/20)
- ・ RICOH G900SE 対応ファームウェア：バージョン 1.04 (2021/5/20)

### 2. リコーカメラの設定について

電子小黒板を使用する場合は、リコーカメラで事前に以下の設定をしてください。

メニュー	項目	設定
拡張設定	カメラメモ設定	ON
	画像加工検知	ON

#### 【注意事項】

※以下のモードでは撮影しないでください。

以下のモードで撮影した写真は、PhotoManager側で改ざん検知機能の対象外となります。

- ・ **ドライブモードの連続撮影、高速連写、M連写、S連写、オートブラケット**
- ・ **ビデオモード**
- ・ **SCNモードの斜め補正**

### 3. PhotoManagerで作成した黒板の見た目のまま連携する方法について

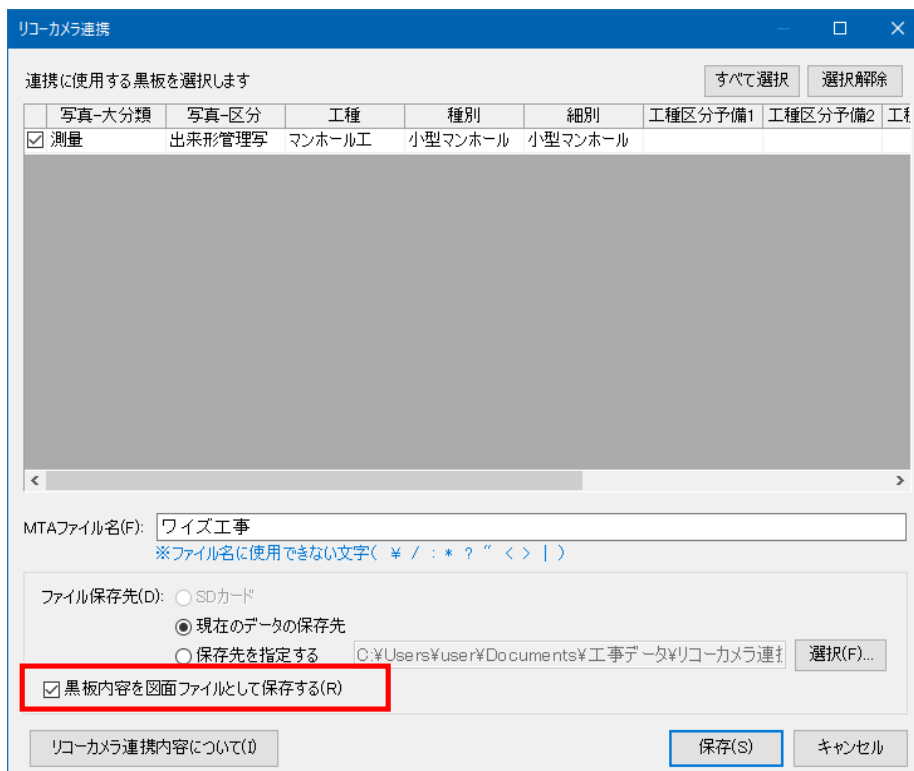
PhotoManagerで作成した黒板の見た目のまま、リコーカメラに連携することが可能です。

リコーカメラ連携をする際に表示される「リコーカメラ連携」画面にて、「黒板内容を図面ファイルとして保存する」にチェックを付けて保存します。

※上記設定で連携した場合、リコーカメラ側で黒板編集（実測値の入力等）はできません。

※上記設定で連携した場合でも、撮影日は、リコーカメラ側で表示されません。

※上記設定で連携した場合でも、縦横比3：4または4：3以外の黒板は、リコーカメラ側で正しく表示されません。



## 4. リコーカメラに連携できない項目・設定について





PhotoManagerの「リコーカメラ連携」画面にて、「黒板内容を図面ファイルとして保存する」のチェックをはずして保存した場合、リコーカメラ側に表示されない項目や反映しない設定があります。

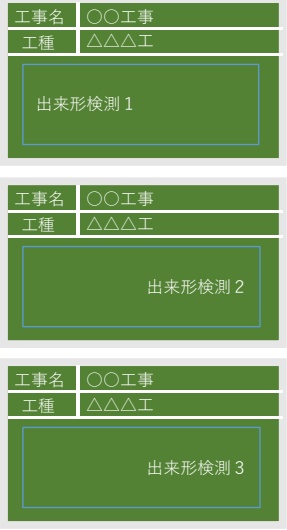

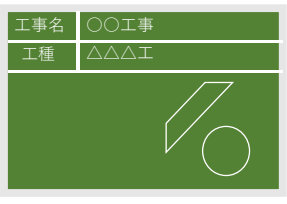
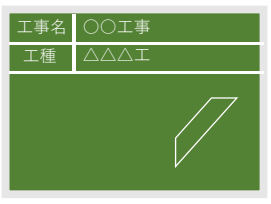
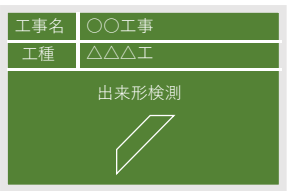
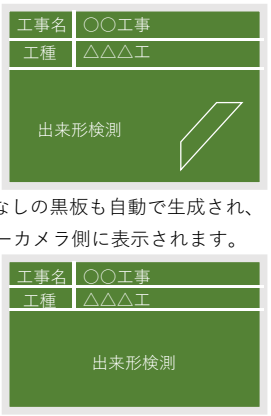
表示されない項目は以下の通りです。

PhotoManager 記載項目		データ	備考
カテゴリ	項目名	連携	
工事情報	工事名称	○	
	工事番号	×	リコーカメラ側では表示されません。
	工事場所	○	
	発注者名	×	リコーカメラ側では表示されません。
	受注者名	○	
	撮影日	×	リコーカメラ側では表示されません。 ※黒板内容を図面ファイルとして保存しても表示されません。
	測点（撮影箇所）	○	
	立会人	○	
	撮影内容（写真タイトル）	○	
工種区分	写真-大分類	○	
	写真-区分	○	
	工種	○	
	種別	○	
	細別	○	
	工種区分予備1～5	○	
施工管理値	設計寸法	△	設計値に値が1つでも入力されていると、設計寸法はリコーカメラ側では表示されません。
	実測寸法	△	実測値に値が1つでも入力されていると、実測寸法はリコーカメラ側では表示されません。
	施工管理値文字	×	リコーカメラ側では表示されません。
	項目名1～10行目	○	
	記号1～10行目	○	
	設計値1～10行目	△	項目名、記号、単位がある場合は、リコーカメラ側では一緒に表示されます。 (例：高さh=1.000m)
	実測値1～10行目	△	項目名、記号、単位がある場合は、リコーカメラ側では一緒に表示されます。 (例：高さh=1.000m)
	単位1～10行目	○	

※電子小黒板レイアウト作成の「文字入力」画面にて、「工事情報等と連携する」のチェックを外して入力した「タイトル」は、リコーカメラ側では表示されません。

リコーカメラ側に反映しない設定等は、以下の通りです。

反映しない設定等	例	
	PhotoManager	リコーカメラ
改行はリコーカメラ側に反映しません。		
リコーカメラ側では、PhotoManagerと異なるフォント、フォントサイズで表示されます。		

反映しない設定等	例	
	PhotoManager	リコーカメラ
文字揃え等の書式設定は、リコーカメラ側では、黒板のデザインごとに最も多く使用されている設定が反映されます。	<p>※以下の例では、右揃えが多いため、右揃えが採用されます。</p> 	
豆図を複数配置した場合、リコーカメラ側では、1枚のみ配置されます。		
写真タイトルと豆図を配置した場合、リコーカメラ側では、必ず横並びになります。		<p>※豆図なしの黒板も自動で生成され、リコーカメラ側に表示されます。</p> 
正しく連携できるのは、縦横比が3:4または4:3の黒板のみです。  それ以外のサイズの黒板は、余白が背景色で塗りつぶされます。 ※黒板内容を図面ファイルとして保存しても正しく表示されません。	